

ふじみサラダボール子育て情報

「知的好奇心と自然」

令和7年9月10日号

板橋富士見幼稚園



多様性に富んだ知的好奇心

自然は、毎日変化します。

春の草花や桜の花びら、新緑から深緑へ、蕾から花へそして、秋色から紅葉へなど…心で思い浮かべ言葉で語ることで自然の変化はたくさんあります。しかしながら、繊細で僅かな変化は、じっと心で見なければ気づきにくいものです。幼児期からの自然体験は、直観力・好奇心・興味関心・探究心そして、探求力へと、成長と共にあるパートナーです。

1歳半を過ぎたころから、人や物の動きや表情等をじっと見つめている姿を見かけたことはありませんか。人のしぐさや言葉、手先や言葉の音の高さや低さ、そして自然の中で繰り広げられている心引かれる美しさなどは、全て子どもにとっての栄養素です。

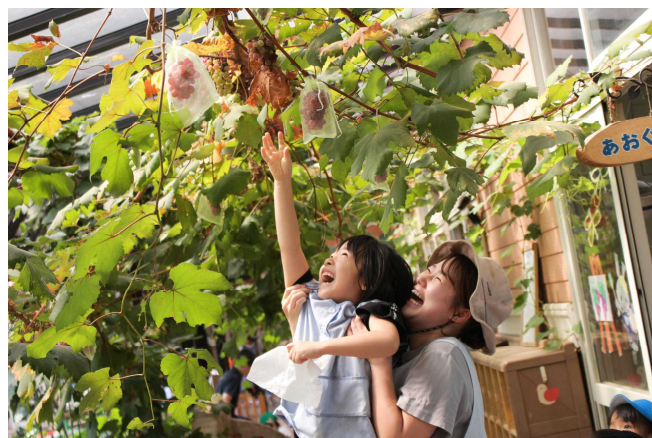


自然は一見いつも同じように見えますが、その変化に心を寄せてみると、いろいろな世界に触れる事ができます。

幼稚園には自然が沢山あり、そのゆったりとした変化の中に、素早く動く小さな虫たちや果実は、子どもの心を虜にします。虫かごをもって、自然の中に。網をもって空に。葉っぱを集めて土に。そして見上げると、杏や葡萄、柿やみかん等々、五感が子どもの心をはしゃがせます。

花壇の美しい草花と出会い砂場でケーキにトッピングする美的な体験や、色づく葉っぱを集めて、リースや見立て遊びなど、常に心を惹きつける自然は、子どもにとって大切な知的環境なのです。

今日の体験が、明日の体験を広げ、科学する思考を刺激してくれます。自然と共に暮らす営みは、幼児期にとって大切な環境です。



🍇 園庭やテラスのブドウが色づき
手を伸ばして味わっています 🍇

